

令和6年度第3回日の出町立中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する協議会
論点整理

感想・意見・懸念事項等	集約・まとめ
<p>○地域移行とあるが、その前に連携という言葉がある。たとえば、土日の大会は地域の方がやって、平日の放課後は教員が教えていくとか、うまく回せていけると良いと思う。ただ、教員の中にも大会まで見たい教員もいる。</p>	<p>◆地域連携・移行の方向性</p>
<p>○子どもたちにクラブをやらせてみてはどうか。やりたい部活で、練習日など自主的に考えてやらせてみる。なぜ、中学校で部活をやりたいか、その思いを形にしてあげたい。先生たちも見守ってほしい。子どもたちだけではできないことがあるので、教員と地域の大人も関わりながらやっていけないかと思う。教員や地域の人には見守りをお願いしたい。怪我、けんかの仲裁など大人が入るところは入る。</p>	<p>◆生徒のニーズに応じた部活動運営</p>
<p>○できるできないは別として、手助けをしてあげながらやっていければよいと思う。 ○部活で先生の言うことを聞いて、自分のやりたいプレーができないということがあった。やってみる価値はあると思う。</p>	<p>◆生徒のニーズに応じた部活動運営</p>
<p>○ただ100%子どもたちというのはどうか。子どもたちは幼いので、それをやらせるにはより注意深く見てサポートをしないとイケない。より一層神経や時間を使う。</p>	<p>◆生徒のニーズに応じた部活動運営</p>
<p>○やってみるのは良いと思うが、責任の所在を明確にする必要がある。</p>	<p>◆生徒のニーズに応じた部活動運営</p>
<p>○いじめ問題の対応や怪我等、安全に関わる問題の責任が問われる。</p>	<p>◆生徒のニーズに応じた部活動運営</p>
<p>○大学のサークルは、事業計画などを学校に出して承認されて実施している。ティーチングとコーチングは違う。学生には難しい。</p>	<p>◆生徒のニーズに応じた部活動運営</p>
<p>○日の出町としては、来年、亜細亜大学にご協力いただき、いくつかの部活から外部指導者派遣を始めるイメージをもつ。まず理想をあげてもらって、理想を現実にしていくためにみんな考えていく。子供からアイデアをもらうのも良い。</p>	<p>◆地域連携・移行の方向性</p>
<p>○学校もやっていい失敗とやってはいけない失敗があり、部活にコーチを付けるのにはやってはいけない失敗が潜んでいるのではないかとはいえ、今までどおりではいけない。ティーチングとコーチングを学生に全部任せるのは厳しい。教員が全部任されるのは厳しい。いろいろな方向があると思うので、スモールスタートで、いい成功例を広げ、悪い例をつぶしていくというのが良いと思う。</p>	<p>◆地域連携・移行の方向性</p>

○静岡市掛川では、地域移行に変更したと契約を結んだと記事を見た。富山で体育協会、地域スポーツクラブへの委託が始まっている。いろいろなところで地域クラブなどと委託契約を結んだ話を聞く。	◆地域連携・移行の方向性
○板橋区などでも始まっている。ほかの都内でもたくさんの事例がネットなどで載っている。とても参考になる。今日の出町の現状に合わせて少しずつやってみる	◆地域連携・移行の方向性

感想・意見・要望等の集約と論点整理

論点 1 日の出町立中学校部活動の地域連携及び地域移行の理念・方針

【考え方・捉え方】

- スポーツ・文化芸術活動に参加できる環境整備を通して、生徒の成長を支える。
- スポーツ・文化芸術活動における部活動の形として、生徒のニーズに応じた柔軟な運営を行う必要がある。
- 先進的に実施している自治体の事例を参考にしつつ、日の出町の現状に即した部活動の地域連携及び地域移行を推進する。

論点 2 地域人材の活用に必要な体制整備

【考え方・捉え方】

- スポーツ・文化活動における生徒の学びには、生徒を導いたり支援したりする大人が必要である。
- 部活動における亜細亜大学の学生の派遣を試行する。
- 指導者派遣における体制整備が必要である。
- 部活動の地域連携・移行において、運営、安全面等における責任の所在を明確にする必要がある。